

議事要旨

会 議 名	第7回「(仮称)はちおうじ未来デザイン2040」懇談会
日 時	令和4年(2022年)3月24日(木)午後7時00分～8時50分
場 所	学園都市センター 第5セミナー室 オンライン(Microsoft Teams)
出席者氏名	<p>参加者</p> <p>拓殖大学 教授 新田目 夏実 氏 東京都立大学 教授 市古 太郎 氏 東京都立大学 准教授 杉原 陽子 氏 法政大学 教授 渕元 初姫 氏 明星大学 教授 河合 美香 氏 八王子市町会自治会連合会 副会長 (八王子市町会自治会連合会推薦) 尾寄 敏夫 氏 八王子商工会議所 常議員 (八王子商工会議所推薦) 加藤 正道 氏 NPO 法人八王子子ども劇場 代表理事 (八王子市民活動協議会推薦) 浅野 里恵子 氏 東京工科大学大学事務局学務部 部長 (大学コンソーシアム八王子推薦) 豊嶋 信一 氏 みなみ野小中学校学校運営協議会 代表 荒井 嘉夫 氏 八王子にほんごの会 役員 宮武 茜 氏 高尾の森自然学校 代表 梶浦 正人 氏 市民参加者 下村 麻子 氏 市民参加者 小幡 未紀 氏</p> <p>事務局</p> <p>未来デザイン室 室長 今川 邦洋 未来デザイン室 長期ビジョン担当主幹 志村 慶太 未来デザイン室 主査 羽生 勇次 未来デザイン室 主任 小山 清史 未来デザイン室 主任 無藤 一貴</p>
欠席者氏名	八王子障害者団体連絡協議会 代表 杉浦 貢 氏 こども食堂ふくろうはうす 代表 (八王子市社会福祉協議会推薦) 細田 明菜 氏
議 題	(1)「懇談会及びパブリックコメントで聴取した御意見及び検討の方向性」について事務局説明 (2)「長期ビジョンの策定及び運用」に関する意見聴取
公開・非公開の別	公開
非公開理由	—
傍聴人の数	1名
配付資料名	資料1:「第6回懇談会における意見一覧」 資料2:「懇談会及びパブリックコメントで聴取した主な御意見及び検討の方向性」

会議の内容
(1)

次第1 開会

【事務局】

事務局より、当日参加者の確認及び配布資料の確認。

<欠席者:2名>

杉浦 貢 氏

細田 明菜 氏

<資料>

資料1:「第6回懇談会における意見一覧」

資料2:「懇談会及びパブリックコメントで聴取した主な御意見及び検討の方向性」

次第2 第6回懇談会議事要旨

第6回懇談会議事要旨の公開時期、第6回懇談会で頂いた意見一覧について事務局より説明。

次第3 議題

1 「懇談会及びパブリックコメントで聴取した御意見及び検討の方向性」について事務局より説明。

<事務局説明要旨>

懇談会及びパブリックコメントでの意見聴取の状況、今後の検討の方向性を説明した。

2 「長期ビジョンの策定及び運用」に関する意見聴取

【拓殖大学教授 新田目夏実 氏】

長期ビジョンの策定及び運用方針に関して、1人当たり5分程度で御発言頂きたい。

【東京都立大学教授 市古太郎 氏】

事務局説明を聞いて、懇談会の議論とパブリックコメントの内容が重なっていると感じた。

八王子市は人口減少段階に伴い、税収が減少することも予想される。市民生活への影響が懸念されるが、長期ビジョンではこうした視点を盛り込まなくてもよいのか気になっている。

【東京都立大学准教授 杉原陽子 氏】

限られた予算の中で、政策課題の優先順位を付ける必要がある。優先順位を検討するに当たっての考え方の一つとして緊急度と重要度のマトリックスがあるが、長期ビジョンでは、緊急度はさほど高くないが、重要度が高い課題にターゲットを絞るべきである。

個別の施策を通じて、ビジョンが具現化されるため、今後の施策検討を期待している。ロジックツリーとハウツリーをうまく活用するなどして、実際の施策を検討し、市民に共感できるものを作ってほしい。

【法政大学教授 淵元初姫 氏】

これまでの議論では、「多様性」という言葉が何度も挙げられ、印象に残っている。今後の策定過程の中では、多様性を尊重するための具体的な取組や仕組みづくりを意識することが重要と考えている。

また、地域における緩やかなつながりづくりには共感するが、その推進のためには誰でも立ち寄れる居場所を、中学校区単位など自転車で行ける程度の範囲に置くことが必要である。その居場所に市民が繰り返し集まり、空間・時間を共有していくことが重要である。

会議の内容
(2)

【明星大学教授 河合美香 氏】

策定に当たって重要なことは、「わかりやすさ」である。市民みんなが自分事として捉え、共有することができるかどうかが重要である。イラストなどを使用し、子供が見てもワクワクできるようなものになればよいのではと思った。

八王子市の DX 計画も拝読したが、長期ビジョンではこの計画を後押しするという内容であること、市全体で取り組んでいることが分かる。また、デジタル分野は技術が短期間のうちに進展するので、計画に掲載したことは必ず実行しなければならないということではなく、アジャイルに、また状況に応じて柔軟に変更する姿勢も重要であることから、市民に理解を求める内容があってもよい。

【八王子市町会自治会連合会副会長 尾寄敏夫 氏】

策定に当たって重要なことは、①市民の意見を十分に反映すること、②世界の動きを見据えることであると考えます。

①については、計画を確実に遂行するためには市民の力が必要である。市民が計画の重要性を理解し、自発的に行動して頂くためには、幅広い市民の声をもとに策定した計画であること等を周知する必要がある。

②については、世界的な動きに生活は大きく影響を受けていることから、国内のみならず、世界の課題にも目を向ける必要がある。

計画の運用については、①計画の進捗状況の把握や見直し、②関係所管の連携が必要である。①については、引き続き進める必要がある。②を進めていくためには、事業担当者の率直な意見を取り入れられる仕組みづくりが必要である。

【八王子商工会議所常議員 加藤正道 氏】

策定に当たって重要なことは、産業面だと今後のデジタル化や産業集積の今後についてなどを示して頂きたい。また、一般論としては共感できる内容であること、誰にでも理解できる内容であること、長期の使用に耐えられること、八王子市のオリジナリティや世の中との接点が入っていること等が挙げられる。「中核市で最もごみ排出量が少ないのに、更にカーボンニュートラルで環境に力を入れる必要があるのか」といったことにならないよう、整合性のある道筋を描き、納得感のある、社会から求められているビジョンとし、人々の生活の判断基準となることが望ましい。

長期ビジョンの策定背景(財政や社会情勢など)を説明し、理解して頂くことが重要である。進捗状況を随時モニタリングし、評価することも重要である。

【NPO 法人八王子子ども劇場代表理事 浅野里恵子 氏】

今年の小学校卒業生は 2040 年に 30 代になる年代である。長期ビジョンをこれから中学生になる生徒達でも理解できるわかりやすい内容にし、学校教育の中で教えることができれば、将来に繋がっていく。

八王子市に住んで良かったと思う市民を増やすために、地域を大事にした話し合いを今後何度か設けて頂きたい。

【東京工科大学大学事務局学務部 部長 豊嶋信一 氏】

策定に当たっては、市民に理解しやすい内容にするということが最も重要である。また、今後は家族の構成や考え方も変わってくると思う。そう考えると、変わっていく社会環境に対応するために、長期ビジョンの見直しや検証を行う必要があると考える。

また、2040年には、現在の小中学生が市の中心的存在になるため、学校教育の場で、長期ビジョンを活用できないかと考えている。ピクトグラムなどを使い、教育に展開しやすい形にするのもアイデアかと思う。また、大学の求められる使命やミッションが大きいことを強く感じ、併せて人口減少の中で八王子に大学を残していかなければならないという危機感を覚えた。引き続き大学連携を進めていきたい。

【八王子にほんごの会役員 宮武茜 氏】

行政の発信には誰にでもわかりやすい、やさしい日本語を使い、公用言語に近づけるようお願いしたい。

少ない割合だが増え続けている外国ルーツを持つ方の支援を軽視せず、妊娠中から高齢化問題まで目を向ける必要がある。

外国ルーツを持つ方にも地域を支える役割が期待されているが、一方で、労働力だけでなく、異文化を持つ人を受け入れる姿勢、市民の理解が必要であり、行政の後押しを期待する。

子どもの不就学の実態等が把握できていないため、調査とともに、日本語教育とキャリア指導、教職員への研修等が必要である。

また、東京都のスマートシティ計画が進んでいるが、理解できている市民は少ない。市には、都と市民の間に入って情報共有して頂きたい。

また、長期的な観点から、少子化が進んでいる地域の小中学校の統廃合や、地域に開かれた施設として有効活用するなどを再考し、街の活性化につなげていただきたい。

会議の内容
(3)

【みなみ野小中学校学校運営協議会代表 荒井嘉夫 氏】

八王子らしい地域自治・共創を実現頂きたい。従来の市民活動は、行政に要求することが多かったが、長期ビジョンでは、今後は皆が同じ方向を向いて協働することを重視していると感じた。新たなことを始めるのは大変だが、チャレンジすることに大きな意味があると思う。企業や団体だけではなく、地域の市民も協働の主体として位置付けて頂きたい。

突破口としての実験的な取組や仕掛けづくりが重要である。自分のケースで言うと、新しいものを追い求めるのではなく、既存のものを継承するということから市民活動(みなみ野自然塾)が始まった。

更に、日々の生活から世界を考え、つくることが重要である。地域の中から小さな声や思い、アイデアなどを拾い、共有する新しい仕掛けが必要である。そのためには、淵元委員の話にもあったが、場や時間の共有が大事だと思う。IT 技術も活用していけると思う。

【高尾の森自然学校代表 梶浦正人 氏】

策定に当たっては、誰もがわかりやすい言葉であることが最も重要である。今後は持続可能な社会を目指すことが重要である。2040年はいわゆる Z 世代が中心となる時代だが、Z 世代は SDGs の考えを学んでおり、危機感を持っている。2040年はこのままいけば明るい未来が待っているわけではない。その中で、長期ビジョンがどのような役割を担うかだと思う。

わかりやすさで言えば、例えば、「カーボンニュートラルの実現」といった表現では抽象度が高く感じてしまうが、「生ごみですべての車が走っている」等と具体的な説明があれば分かりやすい。2040年の姿が具体的であり、共感できるビジョンであることが望ましい。

物の豊かさのみを追い求めるのではなく、心の豊かさにつながるビジョンとなればよい。

【小幡未紀 氏】

専門家の意見をはじめ、色々な意見を聞くことができて楽しかった。
策定にあたり大切なこととしては、資料2を改めて読んだが、「切れ目のない質の高い教育」や「世界が「Hachioji」の魅力を体感している」など、すぐには意味が取れない表現が多かった。分かりやすい表現が望ましい。

未就学の子がいるが、子どもの将来が心配である。SDGs や環境問題など、小さいうちから課題を認識できる機会があると良い。

子育ての中では、経済的な負担や、仕事と子育ての両立の難しさを感じる。サポート頂ける政策があると子どもを更に生みたいという人も増えると思う。

【下村麻子 氏】

私は八王子市で生まれ育ち、働いている。八王子は空も広く、見晴らしが良く、夕日がきれいであり、日々満足感を感じられる好きなまちである。この好きなまちの計画策定に関わることができ、幸運だと思っている。

絹のまちや八王子駅のモニュメントなど、文化継承に重きを置いて頂きたい。

懇談会に参加して、八王子市や市政について考える機会が増えた。そして、自分も八王子をつくる側の人間なのだとも思った。懇談会は自分にとって市政が他人事でなくなるためのきっかけとなった。こういった機会が多くの人にあると良い。

今後も八王子にかかわる人が、伸びやかに、このまちを好きであり続け、ここで打ち出されたビジョンを実現できれば良いと思っている。

会議の内容
(4)

【拓殖大学教授 新田目夏実 氏】

資料2に意見が集約されていると感じた。

長期ビジョンでは、重点テーマが最も重要であると考えている。その実現のためのヒントが、今までの議論に詰まっていると思う。

また、これまでの議論にあまり挙がらなかった「大学と市の連携」はどこかに盛り込んでもよいと考えている。関心のある大学関係者でワーキンググループやプロジェクトを組成してもよい。八王子市民として大学生に地域貢献をしてもらうことも一案である。

わかりやすい、納得感のあるビジョンとなるよう、頑張ってもらいたい。長期ビジョンを策定するに当たり、市の思いが詰まりすぎていると思う節があったので、市民に伝わりやすいことを意識して表現してほしい。

他のまちにはない長期ビジョンとするため、八王子らしさを意識して、強力に打ち出した方がよい。

【拓殖大学教授 新田目夏実 氏】

以上で、委員からの発表を終わるが、全体を通じて意見があれば御発言頂きたい。

【東京都立大学教授 市古太郎 氏】

研究の一環として、以前、岩手県でワークショップを実施した際に、子どもから「東京から沢山補助金 coming いるが、本当に自分たちのためになっているのか」といった質問があった。計画の中で、子どもたちにお金の使い道をわかりやすく示すことも必要なのではないかと感じた。

また、被災地域の研究をしていると、「ともに生きる」というキーワードが挙がることが多い。八王子市でも、「ともに生きていきたい」と思えるコミュニティの存在が大事ではないかと感じた。

<p>会議の内容 (5)</p>	<p>【明星大学教授 河合美香 氏】 八王子市には優良企業が多く存在しているが、就職先としてはあまり選ばれていないようである。その理由の一つには、「学生が知らない」ということがあるのではないか。企業と学生のマッチング支援等の取組が今後必要と考える。</p> <p>【法政大学教授 淵元初姫 氏】 市民参加者の方々から先程「懇談会に参加して楽しかった」という意見が挙がり、印象に残った。計画に関わる人たちみんなが楽しめるものであると良い。 今後のビジョン策定を踏まえると、長期ビジョンの取組に市職員がより積極的に進め、主体的に楽しいと思えるようにするためには、既存事業のスリム化が必要ではないか。市民がそれをサポートできると良い。</p> <p><u>次第4 事務連絡</u> 事務局より、事後の意見聴取方法を説明。</p> <p>座長挨拶</p> <p>室長挨拶</p> <p><u>次第5 閉会</u></p> <p>以上</p>
------------------------	--